

牛肉の消費傾向と「いわて短角牛」の銘柄作り

(畜試 経営部)

1. 背景とねらい

日本短角種の牛肉としての銘柄を確立するために、「どこの地域」の、「どのような消費者」を対象にして、「どのような牛肉」を生産すればよいか、その目標をはっきりさせることが必要である。

それは、「一貫生産モデル事業」の定着により、徐々に明確に成りつつあるが、ここでは量販店の消費者に対するアンケート調査を基に明らかにしようとした。

2. 技術の内容

1) 「どのような牛肉」を生産すればよいか。

◎「いわて短角牛」の商品目標(セールスポイント)

安くておいしく、安全で健康に良い、「赤身肉」

(1) 「おいしい牛肉」でなければならない。(表1, 表4)

消費者が牛肉を購入する際の理由は、「おいしいから」とする者が圧倒的に多く、「いわて短角牛」に対するイメージも「おいしい牛肉」とする者が多い。

(2) 「赤身肉」で「色・つや」の良いものでなければならない。(表1, 表3)

消費者が実際に牛肉を選ぶ際の基準は、「料理に合った部位」とする者が最も多いが、ついで、「赤身肉」、「色・つや」とする者が多い。また牛肉の購入理由として、二番目に多いのは、「栄養や健康を考えて」とする者である。

(3) 「100g平均単価200~400円」の牛肉でなければならない。(表2)

消費者が購入する牛肉の100g当たり平均単価は、各店舗共200~300円、もしくは300~400円が最も多い。

2) 「どのような地域」の「どのような消費者」を対象にすればよいか。

◎ 一般的、普遍的に対象を限定することは困難であり、地域によりまた店舗によって独自の対策が必要である。

消費者の特性(世帯主の職業、世帯年間総収入、世帯員数、世帯1ヶ月食費、料理担当者年齢、短角に対するイメージ)と牛肉の消費傾向(牛肉の購入頻度、1回当たり購入量、1回当たり購入金額、100g当たり平均単価)との間に、地域や店舗を超えて有効な、一般的な関係を見つけることはできなかった。

地域的には、一般的に県内よりも首都圏の方が牛肉の消費量が多い。これは、①絶対的な消費人口の差、②購買力を備えた階層の分布の差、③同じ階層(特性)における消費傾向の差の総合的な結果と思われる。県内の消費拡大を考える場合、前二者の要因については、直接的に打つ手はないにしても、三番目の要因については、何らかの手立てが必要であろう。

3. 指導上の留意点

(1) 調査を実施した店舗は何れも「いわて短角牛」を取り扱っている量販店の店

- 舗等であり、調査時期は59年12月（県内）と60年2月（首都圏）である。
- (2) 各店舗における調査時間帯は、正午をはさんだ前後1～2時間であり、いきおい「専業主婦」が調査対象の主流となっているものと思われる。

4. 参考資料

岩手県食肉消費拡大推進協議会 「食肉の消費動向調査報告書」

5. 試験成績

表1 牛肉を購入する理由の店舗別分布（単位：人、％）

店 舗	回答数	有効数	安いから	価格が手頃だから	入手し易いから	おいしいから	食べ慣れた肉だから	栄養や健康を考えて
県	1	48	46	6.5	2.2	—	69.6	4.4
	2	29	28	3.6	3.6	—	82.1	—
	3	39	35	2.9	5.7	2.9	68.6	2.9
	4	50	43	2.3	2.3	2.3	60.5	4.7
内	5	40	35	—	5.7	—	71.4	5.7
	6	50	41	2.4	12.2	—	68.3	4.9
首都圏	7	45	42	4.8	2.4	—	64.3	7.1
	8	53	45	2.2	2.2	2.2	68.9	4.4
	9	53	43	—	—	—	72.1	7.0

表2 購入する牛肉の100g当り平均単価の店舗別分布（単位：人、％）

店 舗	回答数	有効数	200円以下	2～300円	3～400円	4～500円	5～600円	600円以上
県	1	48	43	4.7	23.3	48.8	16.3	7.0
	2	29	29	—	17.2	34.5	20.7	17.2
	3	39	35	2.9	34.3	37.1	14.3	2.9
	4	50	42	4.8	40.5	28.6	14.3	9.5
内	5	40	32	3.1	18.8	50.0	21.9	6.3
	6	50	43	11.6	37.2	30.2	14.0	7.0
首都圏	7	45	42	—	19.0	59.5	21.4	—
	8	53	43	2.3	23.3	41.9	18.6	11.6
	9	53	47	2.1	12.8	40.4	27.7	14.9

表3 牛肉を選ぶ基準の店舗別分布（単位：人、％）

店 舗	回答数	有効数	色・つや	上・中・並の種類の別	赤身肉の多いもの	霜より肉	料理に合った部位	店の人の薦め	安 全 性
県	1	48	47	17.4	6.5	30.4	19.6	21.7	—
	2	29	28	10.7	3.6	17.9	10.7	53.6	3.6
	3	39	35	17.1	8.6	20.0	5.7	42.9	—
	4	50	38	7.9	7.9	15.8	10.5	52.6	2.6
内	5	40	37	10.8	2.7	16.2	21.6	45.9	2.7
	6	50	42	28.6	4.8	19.0	7.1	40.5	—
首都圏	7	45	43	11.6	—	11.6	7.0	55.8	4.6
	8	53	47	12.8	2.1	6.4	6.4	63.8	—
	9	53	45	6.7	2.2	6.7	2.2	35.6	—

表4 「いわて短角牛」に対するイメージの店舗別分布（単位：人、％）

店 舗	回答数	有効数	おいしい牛肉	安い牛肉	赤身肉の牛肉	自然食品の牛肉	安全食品の牛肉	そ の 他
県	1	48	37	32.4	10.8	18.9	8.1	—
	2	29	26	38.5	23.1	15.4	3.8	7.7
	3	39	35	25.7	22.9	22.9	2.9	14.3
	4	50	44	20.5	6.8	27.3	9.1	20.5
内	5	40	35	14.3	20.0	14.3	22.9	22.9
	6	50	43	20.9	18.6	20.9	16.3	11.6
首都圏	7	45	36	22.2	8.3	11.1	8.3	27.8
	8	53	45	42.2	8.9	13.3	6.7	8.9
	9	53	51	25.5	—	—	5.9	66.7

注）各表とも有効数を100とする構成比である。